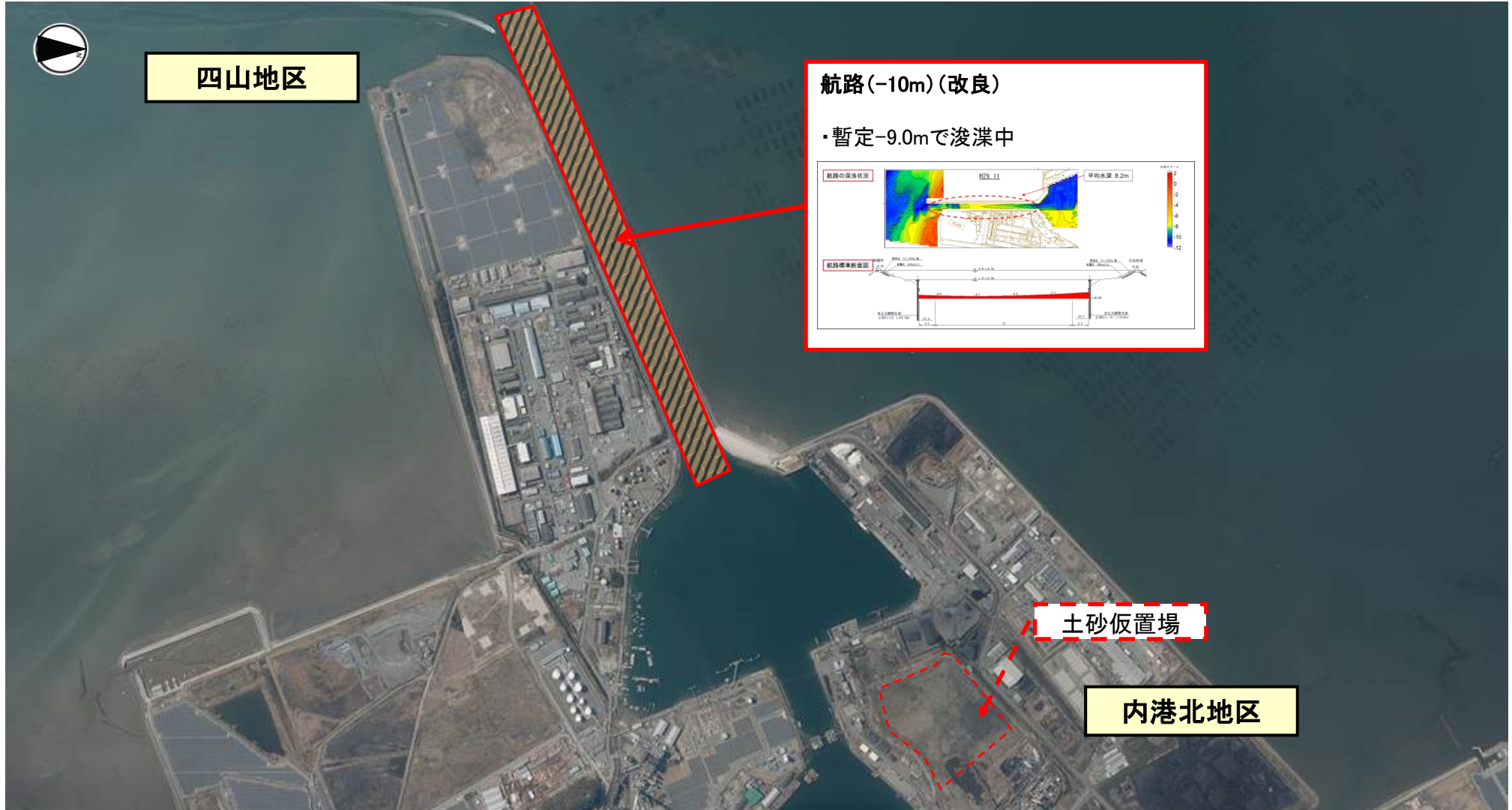
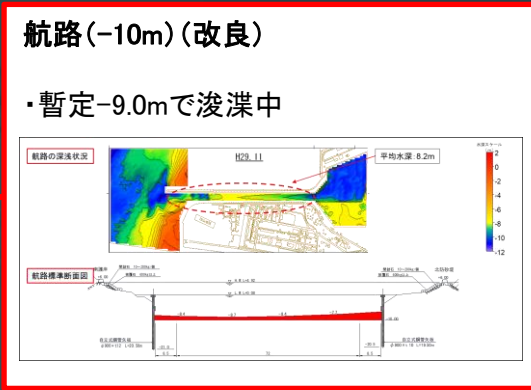


# 三池港の事業概要

- 三池港は、大型船(12,000DWT)が常時入出港できる国際物流拠点として、周辺の地域経済を支える重要な港です。
- 本事業により、大型船舶の安全で安定的な航行及び石炭などのバルク貨物やコンテナ等の取扱いの効率化を実現し、地域経済の発展と背後企業の国際競争力の強化を図るものです。
- 三池港航路は平成23年8月に水深10mの浚渫工事が完了し供用開始していますが、平成29年11月までに平均水深が8.2m(約20.3万m<sup>3</sup>)と埋没しており、その解消を目的に平成30年度から浚渫を再開しています。



四山地区



土砂仮置場

内港北地区